

いわいずみ



ふるさと岩泉の

大家族⑪

復旧・復興に向け加速!2・3

防災体制を充実(新規事業) 6

町の考えを問う(8議員が一般質問) 10~19

議員同士で切磋琢磨! 定例反省会 23

向町地区の下屋敷優紀さん一家、11人家族です。
「自分はひとりっ子のため兄弟は多いほど良いと思っています。今は天井まで水に浸った家を修理して住んでいます。」がんばれ!

に向け加速!

★平成30年度一般会計予算128億円可決

1カ月後、
通行可能に

被災直後の
本陣沢橋
(小川・巖綿地区)



復旧・復興



1年7ヵ月後、
橋周辺の住宅再建
も始まる

新年度予算の内容は次ページ以降

- 新町長のもと副町長2人体制へ (4 ページへ)
- 防災拠点の整備は (6 ページへ)
- 誘客への道すじは (7 ページへ)
- 売り込めふるさと (7 ページへ)

町長2人体制へ



3月定例会のあらまし

3月定例会は3月2日から3月23日までの22日間にわたって開かれました。

初日の本会議では、中居町長の所信表明演説が行われ、新年度予算など43議案が提出されました。

一般質問には8人の議員が登壇し、台風第10号豪雨災害の復旧関係を中心に、産業振興から子育て支援、防災関連など多岐にわたって質問しました。

条例、予算などの33件の議案は2つの特別委員会を設けて集中審査し、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。



所信表明する町長

引き続き災害復旧に重点

平 成30年度の一般会計と7つの特別会計を合わせた当初予算総額は、166億3100万円に決まりました。

このうち一般会計は、128億6000万円、前年度当初予算と比べて74億8500万円、36・8%の大幅な減となりました。減少の主な要因は、台風

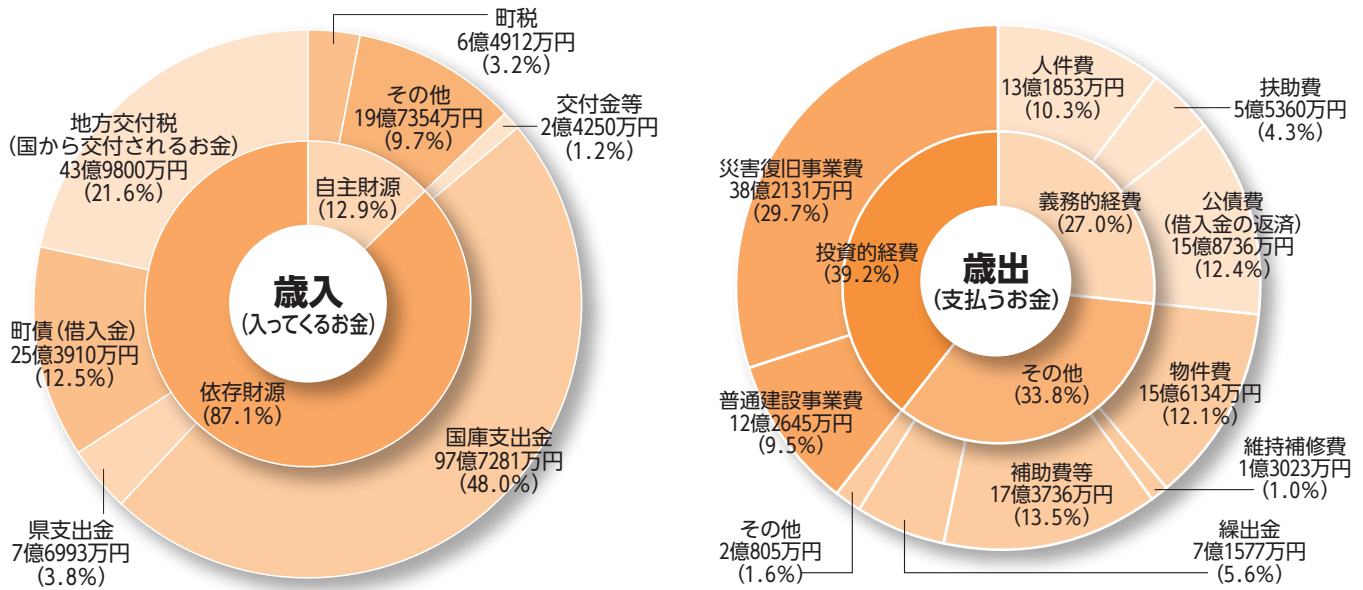
第10号豪雨災害の復旧・復興事業が進んだことによるものです。また、台風第10号豪雨災害復旧・復興予算は、一般会計と特別会計を合わせて50億7312万円となりました。

(予算の概要や特別委員会の審査内容は5ページから9ページに掲載しています。)

前へ!

新町長のもとと副

一般会計 128 億 6000 万円の内訳



前年度歳出予算との比較



義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は、34 億 5949 万円で、前年度より 5.8% 増。
 投資的経費 (普通建設、災害復旧事業費) は、50 億 4776 万円で、前年度より 40.62% 減。

平成30年度各会計の当初予算額

会計名		予算額	前年度比(伸び率)
一般会計		128億6000万円	▲36.8%
特別会計	国民健康保険	事業勘定	13億 410万円 ▲16.4%
		診療施設勘定	3840万円 2.4%
	後期高齢者医療	1億1680万円 3.3%	
	介護保険	事業勘定	14億9960万円 ▲2.3%
		サービス事業勘定	1050万円 ▲1.9%
	簡易水道	4億1490万円 27.2%	
	観光事業	1億8700万円 3.5%	
	公共下水道事業	1億8590万円 7.6%	
大川財産区	1380万円 ▲10.4%		
合計		166億3100万円	▲31.5%

副町長の選任に同意



山崎重信 副町長 (43)
宮古市出身



末村祐子 副町長 (52)
大阪市出身

防災体制を充実



205 枚のソーラーパネルが設置された小本防災センター

新年度予算審査特別委員会（三田地和彦委員長）は、3月19日、23日の3日間の日程で開かれました。災害復旧事業などを慎重に審査し、一般会計・7特別会計の予算を可決すべきものと決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。質疑を要約して掲載します。

防災拠点の整備は 災害時の電源確保

問 新規事業の防災拠点に太陽光発電機、蓄電池などを整備することによりどのように改善されるのか。

答 太陽光発電設備は、発電と蓄電の機能を有し、停電時に防災関連機器を使用できるようにする。自家発電設備は、災害時に庁舎内の重要な電子機器に対応するものである。

問 コストを考えると太陽光ではなく発電機をつける方がいいのではないか。

答 防災設備はコスト面だけでなく、災害時に備えなければならぬものと考えられる。燃料を確保できないこともありうるので、多様な危機的状態に対応できるように整備するものである。

問 通信網を確保するため各支所にも備える考えはないか。

答 現在、衛星携帯電話、小型発電機は設置している。どれくらいの電力量が必要か含めて調査研究していく。

防災拠点機能の整備内容は

目的

災害などによる停電時に役場庁舎に電力を供給し、防災拠点機能の維持をはかるため。

事業概要

- ① 太陽光パネル設置
枚数・168枚
- ② リチウムイオン蓄電池等設置
蓄電量・33・0kWh
- ③ キューピクル型発電機設置
非常用電源コンセント設置
発電量・115kVA
- ◆ 事業費
1億6562万円

危機管理統括監を新設



新採用職員に講義する佐々木危機管理統括監

台風第10号豪雨災害の被害をふまへ防災体制を強化しました。

観光・交流 誘客への道すじは 町一丸で取り組む



旧家の蔵を案内する「まちなかガイド」

問 本年6月には「宮古室蘭フェリー」が就航する。外国客を含め北海道からの誘客にどう取り組むか。

答 フェリー就航は、宮古市と協議を重ね、サービスマン・受け入れ体制の仕組みを計画しているところである。インバウンドの受け入れ体制としては、職員の外国語日常会話の勉強やクレジットカード決済システムの導入を進めている。

問 今年は「東北絆まつり」、来年は「三陸防災復興博」とビックイベン

トがめじる押しである。誘客、交流の拡大にどのように取り組む考えか。

答 「東北絆まつり」は、観光PR・物産ブースと郷土芸能の全部に参加を予定しており、町一丸となつて龍泉洞を含め岩泉町をPRしていく。

「三陸防災復興博」は、県で基本計画を策定、沿岸13市町村でイベントを実施する。これから県と協議し、具体的に詰めていく。県・広域市町村と連携しながら積極的に取り組んでいく。

ふるさと納税

売り込めふるさと

多彩にリピーター確保

問 ふるさと納税者に合わせたダイレクトメールの発送などつながりを継続する試みをするべきだ。

答 リピーター確保のため情報の提供方法、ホームページ掲載など仕組み、方策を練りながら対応していきたい。

問 紙媒体のみならず、メルマガ(※)による情報発信にも取り組んでほしいか。

答 ダイレクトメールやメルマガを使って納税者が増える手だてをしていきたい。

おしゃべり ますの声



熊谷 敏子さん (岩泉 68歳)

観光関係者はもっと

情報を共有して、みんなが一丸となって観光客を受け入れていきな



いと思い
ます。

空き家バンク活用のめどは 夏までにしぼり込み

問 現在、使える空き家はどれくらいあるか。空き家の実態調査委託の内容は。

答 平成27年度調査で988件の空き家推定家屋を確認している。台風災害後の空き家を再調査し、空き家の実態を継続確認していく。

問 データ調査は、どの内容まで行うのか。お盆までにデータがそろふことでよいか。

答 調査項目は、「すぐ貸せる、リフォームが必要、住めない」などに分類し、空き家バンクの精度を高める。時期は、夏までを目指して取り組んでいく。

おしゃべり ますの声



早野由紀子さん (岩泉 44歳)

ふるさと納税で協力してくれた人に対し積極的に情報発信し、岩泉ファンを増やす取り組みを続けてほしいです。

岩泉ファン増やし

(※) メルマガ…個人・企業・団体が定期・不定期にメールで発行する電子雑誌(メールマガジンの略)

条例補正予算等審査特別委員会（合砂丈司委員長）は、3月14、15日の2日間の日程で開かれ、条例改正や補正予算などを慎重に審査しました。

審査の結果、付託された25議案すべてを可決すべきものと決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。

委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

療 済生会岩泉病院の現状は 医 医師増員し安心の確保へ

問 医療体制の確保は町の重要施策の一つである。医師確保に向けた取り組みの現状を示せ。

答 昨年9月に1人の医師招へいが実現し、新たに4月から町の医師奨学生1人が着任を予定している。県からの派遣医師も引き続き協力していただけるので、平成30年度は医師4人体制となり、従来にも増して町民の安全・安心の確保、そして町公衆衛生全般にわたる地域医療の確保に繋がるものと考えている。

おしえて まちの声



上野 春香さん
(小川 30歳)

済生会の医師が増えるのは岩泉にとって安心できる良いことだと思いますが、子育て中の私たちには、いつでも診てくれる小児科の先生がいれば良いなと思います。



済生会岩泉病院

医師4人体制に!



高橋先生の紹介

氏名 高橋 太郎
職名 内科医長
(専門は消化器系)
年齢 34歳
出身 岩泉町
ひとこと

19年ぶりに地元に戻ってきました。岩泉ヨーグルトがおいしいです。一生懸命学んだことを町の人に還元したいと思います。



齋藤先生の紹介

氏名 齋藤 匠
職名 外科医長
年齢 32歳
出身 花巻市
ひとこと

家族4人で来ました。水がおいしいです。

専門の外科を生かして救急の怪我にすばやく処置できるようにしたいです。

常勤医師が4月から4人体制になることにより、今まで担っていた24時間の救急対応、人工透析、訪問診療はもとより、町内の学校やこども園の健康管理、産業医活動、住民の健康管理・維持など、さらに充実すると思います。

今後も住民の皆さまに信頼され親しまれる病院づくりに努めてまいります。

(済生会岩泉病院 総務課)

教育 大学進学支援制度の内容は 私立大学にも拡充して支援



楽しく夢のある高校生活のスタートを（岩泉高校合格発表）

問 大学進学支援制度の内容とその条件を示せ。

答 町では岩泉高校への支援として、大学に進学したくても経済的理由から進学を断念している生徒へ平成28年度は国公立大学進

学者に入学金・授業料の半相当を補助、29年度からは私立大学にも拡充して支援している。条件は町税などの滞納のない家庭で、高校の授業料が免除になっている生徒であること。

介護 保険制度の見直しは 介護保険料を引き上げる

問 3年ごとの更新で今回保険料が上がるということだが、なぜ上げなければならぬのか。

答 今回の制度改正に伴い、65歳以上の保険料の負担割合が増加されたことにより、増加分を賄うために保険料を引き上げる。

問 県内他市町村自治体の状況は。

答 各自治体一斉にこの保険料見直し作業を行っており、情報では本町の保険料は県平均より若干高くなっている。

保険 広域化で保険税は 国 将来は県内で統一

問 平成30年度から県内広域化への移行により体制はどのようになるか。

答 30年度は前年度並みの保険税の予定としているが、今後は県内で統一となる見込みである。

答 財政運営主体が県、他の事務が町という共同運営となる。

問 移行による国保税への影響はあるか。

答 健康増進を目的とした町独自事業の展開や県事業などを導入し、医療費を抑制するよう努めていく。

おしえて

まちの声



竹花 久子さん
（小川 66歳）



介護保険制度は高齢者にとって無くてはならない制度だと思いますが、もらえる年金は上がらず保険料が上がるのは大変ですね。

人権擁護委員 の推薦

竹花美千子さん
（小川 69歳）
任期3年（再任）



県町村会議長会 から表彰

三田地和彦議員が、このほど岩手県町村会議長会から表彰（議会議長11年以上在職）されました。



町の考えを問う





8人の議員が発言

～質問内容～

 <p>三田地久志 議員</p>	 <p>八重樫龍介 議員</p>	 <p>富士山昌典 議員</p>	 <p>富士山和英 議員</p>
<ul style="list-style-type: none">・ 防災・減災体制の強化は 森林資源の活用策を聞く	<ul style="list-style-type: none">・ 生活橋の財源確保を・ 有害動物処理装置の導入を	<ul style="list-style-type: none">・ 生涯スポーツ振興推進を・ 子育て世代に経済的支援を	<ul style="list-style-type: none">・ 町政運営の基本姿勢問う・ 町長の「リーダー論」は・ 副町長の選任について・ 組織体制と職員の資質向上について・ 予算編成と今後の財政運営について
15 ページ	14 ページ	13 ページ	12 ページ

3月15日に一般質問が行われ、8人の議員が町政について質問しました。
内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

なお、質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ごろから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。

<p>小松ひとみ 議員</p> 	<p>林崎竟次郎 議員</p> 	<p>野館泰喜 議員</p> 	<p>坂本昇 議員</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の活用を ・防災・減災の専門窓口を 	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃の減免について示せ ・災害公営住宅は払下げ可能か ・国の被災者生活再建支援金の引き上げについて ・国民健康保険税の子どもの均等割軽減について 	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧工事の事業完了は ・立ち退き世帯への対応は ・生活橋の再建について 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風被災者へ総合的対応を ・森林環境税等の活用計画は ・岩泉フォレストマーケティングの事業展開は
<p>19 ページ</p>	<p>18 ページ</p>	<p>17 ページ</p>	<p>16 ページ</p>



町政運営の基本姿勢問う

はたけやまかずひで
畠山和英議員

町民に寄り添う町政推進 中居町長

問 「元氣あふれるふるさと岩泉の再生」に向けて、「町民に寄り添った町政の推進」をすすめている。

現場主義に徹し、町民との対話を基本として、全職員がこの姿勢をもって、事業推進においては町民に等しく公正公平な町政運営を

心がけていくべきである。町政運営にかける町長の想いを伺う。

町長 町長選挙に当たっては、「町民に寄り添った町政の推進」と「オール岩泉で復旧・復興の推進」に当たることを約束した。

町民はもとより地域、団体、事業者などと常に「対話」を大切にして、二元代表制の町民代表である議員の声をしっかりと聴く姿勢でやる。

行政がまずやらなければならぬことは、「胸襟を開いて相手の話をよく聞く」という姿勢が大切である。しっかりとコミュニケーションをとることを職員にも徹底させながら、実態に照らして改善・改革すべき点は、柔軟に対応していく。

町長の「リーダー論」は議論を重ね施策推進する

問 災害からの復旧・復興などさまざまな町政の重要課題が山積する中で、限られた職員の能力を引き出すために、町政のトップとしてどのようなリーダー論で運営する考えか。

町長 政策立案に当たっては、職員と常に意見交換や議論を重ね、精度の高い政策形成に努めていく。

強いリーダーシップにより政策的に判断することはもとより、基本的には、個人の職員力を高めるためにもそれぞれに課題を与え、ボトムアップでの議論の積み重ねによる施策を推進する。限られた職員の中で、

個々の職員の能力を存分に引き出し、組織として最大の機能を発揮できる運営体制を構築し、より効果ある施策の推進に取り組んでいく。

その他の質問

- ◆ 副町長の選任について
- ◆ 組織体制と職員の資質向上について
- ◆ 予算編成と今後の財政運営について



町長室で執務する中居町長

17文字の
ひとりごと
ていねいに
まちへの想い
問えたかな



生涯スポーツ振興推進を

はたけやまさのり
富山昌典 議員

支援と環境整備に努める

三上教育長

問 本町では「健康の町」宣言をされており、その環境整備のひとつとして岩泉スポーツクラブが活発な事業展開を行っている。
スポーツ助成金を有効活用し会費を低額に抑え、市民の皆様の運動能力・体力の向上、将来的には生活習慣病の罹患率の減少を目標に活動している。この助成金は平成29年度で終了することから町では引き続きこの事業を推進するための支援をするべき。



真剣なまなざしで生涯スポーツ振興を

教育長 生涯スポーツの振興は、本町にとり欠かせないものである。幼児からシニア世代まで幅広い事業を展開している岩泉スポーツクラブの活動がその一翼を担っている。
介護予防のために町が実施する「いきいき百歳体操」への積極的な協力もしており、クラブ事業参加者が年々増加している。
このことを踏まえ、町でも引き続き町民の皆さんが参加しやすい事業を実施するための支援と環境整備に努める。

子育て世代に経済的支援を公平かつスピード感を持って

問 町が重要な施策と考えている子育て世代への支援として、子育て応援住宅を12戸整備し、入居が始まった。その過程で、この住宅を希望した世帯はその倍以上おり、この事業への関心の高さがうかがえる。
その期待に応えるためにも、町の将来的な担い手となる子どもたちへの投資と考え、同じ境遇の子育て世帯には同等の経済的支援を行うことを視野に入れた事業を展開するべきと考えるがどうか。

町長 今回の子育て応援住宅の完成見学会には48世帯131人が来場した。
今後も各世帯それぞれの相談にきめ細かく応じ、意向の情報集約や把握をしていく。子育てがしやすい環境の確保のため、どのような方法が公平・平等な施策となるか検討を加え、スピード感をもって取り組む。



町の宝、子どもたちへの支援を

17文字の
ひとりごと

健康で

笑顔がみえる

まちづくり



生活橋の財源確保を

やえがしりゅうすけ
八重樫龍介議員

可能な限りの手段で確保

中居町長

問 台風第10号豪雨災害で流失した生活橋は73橋あり、事業費は5億円以上が見込まれている。

そこで、財源確保に向けて、仮橋の現状の画像を流すなど、全国に町の今の姿

を発信しふるさと納税を活用した寄付を募るべきと思うが町長の考えを問う。

町長 本年2月末現在、岩泉町台風第10号豪雨災害生活橋復旧支援金口座には1716件、約1350万円の寄付が寄せられている。今後、ふるさと納税は返

礼品目的から、社会貢献への寄付が増加する傾向にあると認識している。

自治体が抱える問題解決を図る仕組みの「ガバメントクラウドファンディング（※）」の活用や、仮橋の現状をインターネットで情報発信するなど、可能な限りの手段を用いて、一日も早い生活橋の財源確保と復旧に積極的に取り組んでいく。



車は通れない仮橋

有害動物処理装置の導入を

広く調査・研究していく

問 有害駆除されるニホンジカの数は増加の一途をたどっている。

さらに、町では二ホンジカの実態調査や捕獲に向けて、ドローンを使用する予定であり、さらに駆除数が増えることが予想される。

現在、町の鳥獣処理は狩猟者が自己責任において埋設処理などを行っていることから、狩猟者の負担が大き。また環境汚染や他の動物が集まることによる被害が懸念される。

そこで、これらの対策として、有害動物処理装置の導入をすべきと思うが町長の考えを問う。

町長 捕獲後のニホンジカなどの処理については、捕獲数の増加に伴って猟友会員の負担が大きくなっているものと認識している。

捕獲処理は捕獲者の負担軽減と環境汚染の防止をはかる大変重要な問題であることから、提案の内容も参考にして国や県と協議を行いながら財源確保、事業主体、処理方法も含め広く調査・研究していく。

17文字の
ひとりごと

生活橋

未来のまちへ

つなぐ橋

(※) ガバメントクラウドファンディング…自治体が目的達成のために出資希望者をインターネット上で募集する手法



防災・減災体制の強化は

みたちひさし 議員
三田地久志

防災士数百人を育成予定

中居町長



新たな防災減災対策に進む

問 町長の公約である防災減災体制強化への取り組みを聞く。
情報伝達手段と自主防災組織の体制強化をどのように進めるか。
また、防災士の育成及び配置をどのように考えているか。

さらに、防災対策室の体制についても強化をはかるべきであるが考えを問う。

町長 災害時における各種メディアによる情報発信は、災害時緊急放送協定や災害情報共有システムにより情報配信の低下はないと考える。

自主防災組織の質の強化が重要であり、活動の検証、各種訓練を定期的に行う。防災士は数百人体制で育成し、自主防災組織や消防団員にも働きかけ、幅広い年代で防災士の確保に努める。
防災対策室の人員体制についてもさらなる強化を検討している。

森林資源の活用策を聞く 新たな施策を活用していく

問 一次産業の活性化策、特にも「森林環境税と森林環境譲与税の創設で町の林業施策に活用、あるいは森林資源の価値の最大化に取り組み」と表明をしているが、具体的な方向を聞く。

町長 森林環境税と森林環境譲与税については、国が平成31年度から森林環境譲与税を前倒しで開始する予定である。使途は国が示す「新たな森林管理システム」により、適切な経営・管理を自ら実行できない私有林を市町村が管理し、間伐などの森林整備とその促進に関する費用に活用できるとのことである。30年度から



新制度による荒廃林の整備に期待

県や林業関係者と意見交換会を行い、事業実施に向けて内容検討を進める。

17文字の
ひとりごと

また思う

使いきるぞと

持ち時間



台風被災者へ総合的対応を

さかもと のぼる
坂本 昇議員

包括的相談・支援を行う

中居町長

問 台風第10号豪雨災害の住宅再建について、まだ道筋が見えない被災者がいるがその対応を問う。

また、移転用地の価格提示はいつの予定か。

さらに、被災者の健康状態に問題はないか。

町長 時間の経過により意向の変化が生じている。現在、個別に聴取する方法で、第3回目の意向調査を行っている。

用地の提供価格は、各団地の工事費、不動産鑑定評価額、地価調査、地価八三示、県河川改修事業の補償価格などを参考としながら、平成30年度の早い時期に、概算の価格を示したい。

健康管理については、支所へ保健師を配置するなど、心身の健康管理や孤立



百歳体操で健康増進

防止に努めてきた。

今後においても、復興が進む中で、生活再建のステージに合わせた包括的相談・支援について取り組んでいく。

森林環境税等の活用計画は

町に適した森林整備をはかる

問 森林環境税及び森林環境譲与税の創設により、当町で期待できる運用額、運用時期、受益者への還元などの計画はどうか。

森林資源の価値の最大化について、その具体的な取り組みを示せ。

町長 運用額については、初年度は約2370万円となり、段階的に増額される。今後示される国のガイドラインの動向を注視しながら、町に適した森林整備及び木材利用促進の在り方について検討を重ね、事業実施に向け準備していく。

森林資源の価値の最大化については、本町の強みである広葉樹とFSC森林認

証（※）を生かし、市場価格や加工業者のニーズに対応した樹種の選定及び採材・造材方法により、価値を高めていく。

近年広葉樹の需要に対し、大径木資源は極めて限定的であり、小径木の広葉樹をどう生かしていくか、これらを生かす取り組みが新たな価値の創造につながるものと期待をしている。

その他の質問

▼岩泉フォレストマーケットインングの事業展開は

17文字の
ひとりごと

見守りが

被災の迷い

軽くする

(※) FSC 森林認証…適切に管理されている森林から伐採され、流通、加工が環境や地域社会に配慮しているか国際基準で認証を受けた木材製品



復旧工事の事業完了は

のだてやすき
野館泰喜 議員

5年以内の完了目指す

中居町長



遅れが許されない災害復旧工事

問 所信表明の中で、平成30年度中に土木災害工事の発注を完了したいということだが、事業の完了に関しての言及がない。

発災から5年以内に事業完了しなければならぬと認識しているが、遅滞状況のテコ入れ、工期の設定などどのようになっているか。

町長 30年6月中を目途に発注完了を目指している。まずは、不調不落がなく契

約を締結することが第一優先である。

全体的な事業の遅れを取り戻すために、資材ヤードや残土捨て場の確保、地権者や関係機関との調整、作業員宿舎のあっせんなど早期完了のための努力をしている。

32年度内には災害復旧事業を完了させるために発注者、請負業者共に緊張感を持って進める。

立ち退き世帯への対応は 個別相談で解決策を出す

問 河川改修に当たって、立ち退かなければならない世帯に対しての基本的な考えを示せ。

立ち退き補償費と生活再建支援金を合わせても家を建てるのが出来ないケースが多いと思われる。いまだに再建方法を確定できない人を安心させるため、どのような対処をするのか。

町長 住まいの再建については、個別の意向がある。基本的に、移転補償費と支援金を合わせて再建していただくことになる。

具体的な内容については、住まいの状況、家族構成などにより意向の違いが生じてくる。個別相談の中で状況を聞きながら対応していく。ていねいにきめ細かく相談に乗り、解決策を見い出していく。

その他の質問

▼生活橋の再建について

17文字の
ひとりごと

寄り添って

ふっこう加速の

ためと為す



家賃の減免について示せ

はやし ざききょうじろう
林崎 寛次郎 議員

低所得者には配慮する方向

中居 町長

問 災害公営住宅の家賃の軽減策について聞く。町営住宅条例には、家賃の減免条件として「入居者または同居者が災害により著しい損害を受けたとき」と規定している。今回の災害公営住宅は、まさに被災者が入居する住宅である。家賃の減免についてどのように考えているか示せ。

町長 家賃の減免については、被災された人に、何らかの対策は必要であると認識している。現在、減免の金額、期間、対象者など、多様な角度から検討している。その中でも、低所得者に対しての減免は、配慮すべきと考えており、平成30年度の早い時期に、その方向性について示していきたい。

災害公営住宅は払下げ可能か 償却後に町の裁量で処分が可能

問 戸建て住宅の入居者が希望した場合、将来的に払下げは可能か。

町長 制度上では、木造公営住宅の場合、完成後7年6か月経過すれば、国土交通大臣に対して払下げの協議を行うことができる。承認が得られた後には、譲渡することが可能となってくる。ただし、その時点で譲渡するとなれば、譲渡価格

はかなり高額なものとなってしまう。木造公営住宅の場合、償却期間が30年であるため、償却期間経過後は、町の裁量により処分することが可能となっている。

その他の質問

- ▼ 国の被災者生活再建支援金の引き上げについて
- ▼ 国民健康保険税の子どもの均等割軽減について



災害公営住宅の着工

17文字の
ひとりがごと

三十年

愛して暮らし

花咲かそ



ふるさと納税の活用を

こまつ 小松ひとみ 議員

状況の推移を見て検討

中居町長

問 平成28年度は9834万円のふるさと納税があった。そこで、若い世代のイベントや起業、課題解決への支援など「岩泉の復興への新しいチカラ応援プロジェクト」という、ふるさと納税を活用した基金を設立する考えはないか。

町長 現在、ふるさと納税は「災害からの復興」のほか新岩泉町まちづくり総合計画の「4つの森林」に使

いみちを区分した寄付、指定なしの寄付がある。

具体的な事業や支援に使用を限った寄付は、地域活性化や寄付金の拡大には有効と認識している。

しかし、台風災害からの復旧・復興、生活橋に係る財源確保が町の最優先課題という現状を踏まえ、今後、寄付の状況の推移や、先進自治体の取り組みを参考にしながら、総合的に検討を重ねていく。



岩泉ファンをつなげる

防災・減災の専門窓口を 総務課防災対策室で対応

問 九州朝倉市からの客人を迎えたが、本町の台風災害を知らなかったことに驚いた。

しかし、それと同時に、災害体験を教えてほしい、お手伝いできることはないか、という声も届く。専門的な人材を配置し、総合的に対応できる独立した部署が必要ではないか。

町長 町内外からの問い合わせは総務課内の防災対策室で受け付け、調整をしている。

例を挙げると、東日本大震災津波の災害体験に関する問い合わせには、岩泉観光ガイド協会を、台風第10号豪雨災害のボランティアについては、町社会福祉協議会を紹介し、防災教育の講演依頼は、町の職員が直接出向いている。

現段階では新たな部署の設置は難しい状況であるが、東日本大震災津波、台風災害を経験した本町でなければ伝えられないこと、伝えていかなければならないことは積極的に発信していく。

17文字の
ひとりごと

全国の

いわいずみ愛

つなぐこと

皆さんからの 請願

陳情

3月定例会に提出された請願は2件でした。
 前回の定例会から継続審査としていた1件を加えた3件について、
 2つの常任委員会に審査を付託した結果、次のとおり決定となりました。

請願件名 (付託委員会)	請願人	紹介議員	審査の結果	本会議での結果
日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願（総務）	岩手県原爆被害者団体協議会 ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手県の会長兼代表 伊藤宣夫	林崎寛次郎	採択	採択に全員賛成 国の関係機関に意見書を提出
ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願（総務）	一般社団法人 岩手県タクシー協会 会長 小野幸宣	小松ひとみ	採択	採択に全員賛成 国の関係機関に意見書を提出
平成28年台風第10号災害に対する河川改修工事に歩道設置の請願（産業）	昆野睦雄	合砂丈司	採択	採択に全員賛成 岩手県に意見書を提出

採択された請願の意見書は、議員発議で提出。これを全会一致で可決し、国や県の関係行政庁に送付しました。

日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書

▽意見書の要旨

核兵器が再び使われかねない危うい状態が続いている今だからこそ、核兵器の悲惨さを知る唯一の国の政府として、先頭に立ってすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会での批准を経て核兵器禁止条約に正式に参加することを強く求める。

ライドシェア（※）の導入に反対し、安全安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書

▽意見書の要旨

多くの問題点を有しているにもかかわらず、ライドシェアが無秩序に地域で展開されれば、結果的に利用客の安全安心が担保されない事態が常態化する恐れがある。

地域の公共交通の役割を担っているタクシー事業者が、より安全安心で快適・便利な交通機関として利用客にサービスを提供できるように、ライドシェアの導入は行わず、タクシー事業の適正化・活性化のための施策を推進すること。

平成28年台風第10号豪雨災害による国道455号かさ上げ工事に関する意見書

▽意見書の要旨

襲野・日向地区の住家周辺に歩道を設置するとともに、バス停車レーンを整備すること。



雨天時には特に危険な襲野・日向地区

(※) ライドシェア…相乗りのこと。一般の自動車の運転手が、対価を得て一般人を同乗させること。



質疑のその後

どうなりました...あの提言

議会だよりでは、定例会で行われた質疑の要旨を掲載しています。
議員の行う提言などは、町政にどう反映されているのでしょうか。
これまでの質疑の中から一部をピックアップし、その後の経過について追跡してみました。

◆平成 29 年 3 月定例会

質問 民営保育所の保育士に手厚い社会保障を

民営保育所の保育士などが安心して長く働ける環境をつくるため、社会保障を手厚くするべきではないか。

答弁

以前から民営保育所を運営する団体と検討を重ねていた。
運営団体が社会保険の任意適用事業所となるよう支援していく。

背景

子育て世代が安心して働けるようにしたい。
そのために保育士を安定的に雇用する必要がある。
手立ての一つとして、社会保険の加入が考えられる。

30年度に
予算計上

民営保育所運営事業補助金
1132 万円
(新たに社会保険分の経費を含む)



笑顔でスタートした有芸保育所



～町のみなさんの声を聞きました～

郷土愛の強い町の町

25歳のとき、人生設計で東京にとど



昆野雅人さん
(岩泉 27歳)

まるか、岩手に戻るか決断に悩んだ時に、今の職場の募集を知りました。母の実家が田野畑村にあるため、北上市から遊びに行くとき必ず通った岩泉町で働いてみたいと思ひ応募しました。平成27年に採用になり、晴れて岩泉町民になりました。

住んでみて感じたことは、考え方や行動はそれぞれでも本質は郷土愛の強い人が多いということです。ここは、短い夏季そして厳しい冬季を過ごすた

めに、創意工夫を凝らすことで生活の知恵が身につつき、楽しく暮らしています。また、町外の人と町内の人では求める岩泉にやや差があると感じています。より多くの経済が循環するよう、たくさんの方が岩泉町に来てもらえれば、町の人が充実した暮らしができると思います。



佐々木美次さん (右)
(岩泉 35歳)

復興関連の仕事のため、宮崎県から岩手県内の港湾工事に来ていた時に岩泉町出身の妻と出会い、初めて岩泉町に来ました。妻が「龍泉洞はとても水がきれいで神秘的な所だよ。」と話していたので、さっそく訪れてみると、まさに話のとおり素晴らしい場所で、一度訪れただけで岩泉町のが好きになりました。住んでみてまず思うことは、町民の人の良さです。遠くから来た私に対

しても、親切で優しく接してくれます。そして、家族も増え、5人仲良く充実した毎日を送ることができています。岩泉町は山があり、海もあり自然豊かで人柄も良く大好きです。これからもお世話になりたいと思っています。これからの町のことを考えると、観光地として有名ですが、もっと全国の人に知ってもらい、この素晴らしい景色を来て観て感じてもらえれば、移住する人はさらに増えると思います。これまでに以上に活気あふれる町になることを期待しています。

水がきれいで神秘的の町に

復興関連の仕事のため、宮崎県から岩手県内の港湾工事に来ていた時に岩泉町出身の妻と出会い、初めて岩泉町に来ました。

妻が「龍泉洞はとても水がきれいで神秘的な所だよ。」と話していたので、さっそく訪れてみると、まさに話のとおり素晴らしい場所で、一度訪れただけで岩泉町のが好きになりました。

議会定例反省会

議員同士で 切磋琢磨！

当議会では、平成27年3月に議会基本条例を制定しました。その中で、第6条に議員間討議の活発化を掲げ、議員の資質向上に努めると明記しています。その実践の一環として、年4回の定例会終了後に反省会を行っています。今回は、その内容の一部を紹介します。

▼加藤久民議長（14番）

一般質問は8人で内容が良かった。わかりにくい再質問もあったので簡潔明瞭を心掛けてほしい。特に、答弁を復唱してから質問を入れるのは時間の無駄である。

▼条例補正予算等審査特別委員長

▼**台砂丈司議員（10番）**
質問と答弁がかみ合わないのは委員長の責任であり、反省している。

▼新年度予算審査特別委員長

▼**三田地和彦議員（8番）**
質問の冒頭に議席番号を

言う約束だが明確でない人がいる。また、款項目（※）をはつきり言うべきである。

▼畠山昌典議員（1番）

不得意分野の質問が不分だった。

▼畠山和英議員（2番）

予算委員会は課ごと審査なので、各課に質問しなければという気持ちで臨んだ。先輩議員に指摘されたことを反省し、質の向上を目指していく。

▼小松ひとみ議員（3番）

まだまだ、筋道を立てた質問ができない。精進する。

▼八重樫龍介議員（4番）

委員会質疑において、要



議員の質を上げて臨む委員会質疑

望で終わることが多いので答弁で終わるよう心掛ける。議員は言葉で資質がわかるので勉強が必要である。

議員と語る会を開催します

議会活動の報告と町民の皆さんとの意見交換会を開催します。

時間は各会場とも、

午後7時から午後8時30分までの予定です。

多数の参加をお待ちしています。

月日	地区名	会場
6/18(月)	岩泉	町民会館 2階大会議室
6/20(水)	小本	小本津波防災センター
6/26(火)	小川	小川生活改善センター
6/29(金)	安家	安家生活改善センター
7/3(火)	大川	大川基幹集落センター
7/6(金)	有芸	有芸生活改善センター

▼三田地久志議員（5番）

一般質問の再質問では、終わった後に気が付いたことがあった。次から吟味して質問するよう心掛ける。

▼林崎寛次郎議員（6番）

議案思考日の過ごし方がまずかった。もっと勉強して、次回から活発な発言ができるように努める。

▼坂本昇議員（7番）

本年度の政調会事業でFM岩泉の鷲塚さんから発声を、岩泉小学校の高橋校長から文章の組み立てを学んだ。長年のくせはなかなか直せない。

▼菊地弘己議員（9番）

自分の質問と答弁があまりかみ合わなかった。

▼畠山直人議員（11番）

一般質問の再質問は一問一答形式のはずだが守られていなかった。

▼三田地泰正議員（12番）

自分がどの分野に精通しているかの認識を持って対応するべきである。

▼野館泰喜議員（13番）

一般質問の原稿を読み間違えたところはそのまま訂正すれば良い。定例会で議長、委員長が質問者に数度注意したのは良かった。

(※) 款項目…予算を区分するときを使う名称で「款」が最も大きな区分、次に「項」、「目」、「節」となります。

ひとことインタビュー

3月定例会の傍聴者数はのべ15人でした。傍聴された人の中から、岩泉の昆野キヨさんに傍聴した感想などをインタビューしました。



昆野 キヨさん
(岩泉 77歳)

いつも来てっとも
ここはおもしろー
どこだがあー

―傍聴のきっかけは。
昆野 私は、先々代の八重樫協二町長時代から議会のたびにいつも来ています。この場に来る

とそれぞれの思いが見えて面白いです。

―傍聴された感想はどうでしたか。
昆野 今日は、新町長を応援する気持ちで来ました。災害からの復旧・復興への意気込みが感じられて頼もしく思いました。

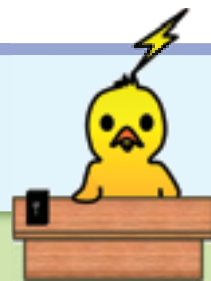
―議員に対する要望がありますか。
昆野 前の時代には、議員から答弁に困るようなつっこんだ質問があり、行政側が右往左往するシーンが少なくありませんでした。今は、ある意味おとなしい気がして物足りない。

―議会や町政に対する要望はありますか。
昆野 今日は特に答弁がしっかりしていて復旧・復興に一丸となって進んでいる姿勢が見えました。頑張ってください。

―議会や町政に対する要望はありますか。
昆野 今日は特に答弁がしっかりしていて復旧・復興に一丸となって進んでいる姿勢が見えました。頑張ってください。

―議会や町政に対する要望はありますか。
昆野 今日は特に答弁がしっかりしていて復旧・復興に一丸となって進んでいる姿勢が見えました。頑張ってください。

議会を傍聴しませんか



次の定例会は、
**6月上旬に
開会予定**です

傍聴の
手続きは簡単！
傍聴席の入り口で、
名前と連絡先を書くだけです。

広報広聴常任委員会

議長	加藤 久民
委員	八重樫 龍介
副委員長	小松 ひとみ
委員	島山 昌典
委員	島山 和英
委員	三田地 久志
委員	野館 泰喜

編集後記
新町長のもと行われた第1回定例会は、一般質問に8人が登壇し、今後の町政運営について質問がなされました。▽今号から一般質問を行った議員は、その内容等について17文字にまとめた「ひとこと」を掲載することになりました。凝縮した文字数の中にどう思いを伝えるか、町民の皆さんに是非読んでいただきたいと思えます。(委員 三田地久志)



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会―問伐に寄与した紙―」を使用しています。